

唐丹中学校 出前授業（身近な環境調査）

日時： 2014年10月7日

場所： 釜石市立唐丹中学校

参加者： 中学1年生 10名

関連単元： 中3「自然環境の調査と環境保全」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

学習指導要領では、身近な環境調査の例として、学校周辺の川に棲む水生生物の調査が推奨されている（中3）。しかしながら、野外での環境調査は、準備から実施までの手間がかかり、理科の教員だけで実施することはなかなか困難である。今回は、継続的に学校の近くの川の生物調査を行うため、野外での生物採集と観察を行う授業を計画した。しかしながら、天候が悪く、教員が事前に採取しておいた、目的の川の水（数か所分）を使って、理科室にて水質検査を行った。途中、事前に教員とお茶大講師が川に下見に行った際、どのような生物が見られたか写真を用いて紹介した。川の水の他に、生徒の自宅から持参してもらった金魚の水槽の水も検査した。

実施結果：

川への生物調査は行けなかったが、屋内で川の水を使って、パックテストを使った水質調査を行った。生徒たちは、結果から分かることを理解しようと、講師から説明を聞き、各班での結果をまとめた。この取り組みを行ったあと、生徒たちによって文化祭で発表していただいた。身近な川の環境について、理解が深まった。

